

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公表番号】特表2020-533415(P2020-533415A)

【公表日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2020-536720(P2020-536720)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/438	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/137	(2006.01)
A 6 1 K	31/4458	(2006.01)
A 6 1 K	31/5375	(2006.01)
A 6 1 K	31/165	(2006.01)
A 6 1 K	31/522	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/02	(2006.01)
A 6 1 K	31/343	(2006.01)
A 6 1 K	31/4525	(2006.01)
A 6 1 K	31/15	(2006.01)
A 6 1 K	31/135	(2006.01)
A 6 1 K	31/381	(2006.01)
A 6 1 K	31/495	(2006.01)
A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 K	31/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/38	(2006.01)
A 6 1 K	31/335	(2006.01)
A 6 1 K	31/553	(2006.01)
A 6 1 K	31/435	(2006.01)
A 6 1 K	31/42	(2006.01)
A 6 1 K	31/421	(2006.01)
A 6 1 K	31/40	(2006.01)
A 6 1 K	31/554	(2006.01)
C 0 7 D	498/04	(2006.01)
C 0 7 D	211/34	(2006.01)
C 0 7 D	265/30	(2006.01)
C 0 7 D	473/12	(2006.01)
C 0 7 D	307/87	(2006.01)
C 0 7 D	405/12	(2006.01)
C 0 7 D	333/20	(2006.01)

C 0 7 D 295/096 (2006.01)  
 C 0 7 D 249/12 (2006.01)  
 C 0 7 D 471/04 (2006.01)  
 C 0 7 D 223/28 (2006.01)  
 C 0 7 D 243/10 (2006.01)  
 C 0 7 D 337/12 (2006.01)  
 C 0 7 D 313/12 (2006.01)  
 C 0 7 D 267/16 (2006.01)  
 C 0 7 D 487/04 (2006.01)  
 C 0 7 D 221/18 (2006.01)  
 C 0 7 D 261/18 (2006.01)  
 C 0 7 D 263/24 (2006.01)  
 C 0 7 D 207/09 (2006.01)  
 C 0 7 D 281/16 (2006.01)

## 【 F I 】

A 6 1 K 31/438  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1  
 A 6 1 K 31/137  
 A 6 1 K 31/4458  
 A 6 1 K 31/5375  
 A 6 1 K 31/165  
 A 6 1 K 31/522  
 A 6 1 K 9/20  
 A 6 1 K 9/48  
 A 6 1 K 9/08  
 A 6 1 K 9/14  
 A 6 1 K 9/12  
 A 6 1 K 9/70  
 A 6 1 K 9/06  
 A 6 1 K 9/02  
 A 6 1 K 31/343  
 A 6 1 K 31/4525  
 A 6 1 K 31/15  
 A 6 1 K 31/135  
 A 6 1 K 31/381  
 A 6 1 K 31/495  
 A 6 1 K 31/496  
 A 6 1 K 31/55  
 A 6 1 K 31/00  
 A 6 1 K 31/38  
 A 6 1 K 31/335  
 A 6 1 K 31/553  
 A 6 1 K 31/435  
 A 6 1 K 31/42  
 A 6 1 K 31/421  
 A 6 1 K 31/40  
 A 6 1 K 31/554  
 C 0 7 D 498/04 1 0 5

C 0 7 D 211/34  
C 0 7 D 265/30  
C 0 7 D 473/12  
C 0 7 D 307/87  
C 0 7 D 405/12  
C 0 7 D 333/20  
C 0 7 D 295/096  
C 0 7 D 249/12 5 0 3  
C 0 7 D 471/04 1 0 1  
C 0 7 D 223/28  
C 0 7 D 243/10  
C 0 7 D 337/12  
C 0 7 D 313/12  
C 0 7 D 267/16  
C 0 7 D 487/04 1 5 0  
C 0 7 D 221/18  
C 0 7 D 261/18  
C 0 7 D 263/24  
C 0 7 D 207/09  
C 0 7 D 281/16

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月8日(2021.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ナルコレプシーを処置するための、ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩を含む医薬組成物。

【請求項2】

0.1mg～30mgのガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩を含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩の一日投与量が1mg～30mgである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項4】

5mg～20mgのガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩を含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項5】

ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩の用量が0.1mg/kg～1mg/kgである、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

1日1回、2回、3回または隔日投与される、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項7】

CNS刺激剤、覚醒促進剤(eugeroic agent)、抗うつ剤およびGABA<sub>B</sub>受容体アゴニストから成る群から選択される化合物をさらに含む、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項8】

CNS 刺激剤がアンフェタミン、右旋性アンフェタミン、メタンフェタミン、メチルフェニデート、フェンテルミン、ジエチルプロピオン、フェンジメトラジン、リスデキサンフェタミン、ベンズフェタミン、アトモキセチン、カフェインおよびエフェドリンから成る群から選択される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

覚醒促進剤がモダフィニルおよびアルモダフィニルから成る群から選択される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

抗うつ剤がドーパミン作動性抗うつ剤、ドーパミン作動性賦活剤、セロトニン - ノルエピネフリン再取り込み阻害剤、ノルエピネフリン再取り込み阻害剤、モノアミンオキシダーゼ阻害剤、三環式抗うつ剤、四環式抗うつ剤および選択的セロトニン再取り込み阻害剤から成る群から選択される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

GABA<sub>B</sub> 受容体アゴニストがナトリウムオキシベート、バクロフェンおよびフェニビュートから成る群から選択される、請求項 7 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩を含む医薬組成物であって、ナルコレプシーの 1 以上の症状を低減するために投与されるものである、医薬組成物。

【請求項 13】

ナルコレプシーの症状が日中の過剰な眠気、異常 REM 睡眠、カタプレキシー、睡眠麻痺、幻覚、無意識下での行動および夜間の覚醒状態から選択される、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩の投与量が 5 mg ~ 30 mg である、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

CNS 刺激剤、覚醒促進剤、抗うつ剤および GABA<sub>B</sub> 受容体アゴニストから成る群から選択される化合物を投与することをさらに含む、請求項 12 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

ナルコレプシーを処置するための、ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩を含む医薬組成物であって、患者の翌日機能の改善を提供する、医薬組成物。

【請求項 17】

患者が日中の過剰な眠気の量の低減を示す、請求項 16 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

ガボキサドールまたはその薬学的に許容される塩の投与量が 5 mg ~ 30 mg である、請求項 16 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

CNS 刺激剤、覚醒促進剤、抗うつ剤および GABA<sub>B</sub> 受容体アゴニストから成る群から選択される化合物をさらに含む、請求項 16 に記載の医薬組成物。